地　域　医　療

（地域医療システム学講座）

【はじめに】広島県において地域医療の構築は重要な課題である。学外の最前線の現場で臨床実習を行うことにより、地域医療の現状・魅力・課題等を実感し、地域への貢献を目指す学生の育成とともに、医療人としての幅広い人間形成を目指す。

【実習目標】

一般目標：

地域医療の在り方と現状および課題を理解し、地域社会で求められる医療・保健・福祉・介護の活動について学び、地域医療に貢献するための能力を身に付ける。

到達目標：

1）地域のプライマリ・ケアを経験する。
2）病診連携・病病連携を体験する。
3）地域の救急医療、在宅医療を体験する。
4）保健、医療、福祉、介護の多職種連携を体験する。
5）地域における疾病予防・健康維持増進の活動を体験する。
6）中山間地の医療について理解を深める。
7）ふるさと枠学生については広島県あるいは岡山県の中山間地医療に貢献する意思と能力を身に着ける

実習場所：

原則として中山間地の地域医療基幹病院を中心とし診療所、福祉施設など。ただし新型コロナウイルスの感染状況に応じてオンライン実習あるいはハイブリッド実習への切り替え可能性あり。

【実習内容】

1．外来実習（プライマリ・ケア、救急医療外来）
2．病棟実習
3．訪問診療または訪問看護実習（在宅医療）
4．社会福祉施設実習（老人保健施設、特別養護老人ホームなど）
5．看護体験実習
6．多職種連携実習（ケアカンファランス、地域連携室など）
7．その他（主治医意見書記載、高齢者総合的機能評価など）

【担当教員】
医系科学研究科　地域医療システム学　　松本正俊、石田亮子、柿本聖樹

【実習病院（実習責任者）】
１．庄原赤十字病院（中島　浩一郎院長）
２．神石高原町立病院（原田　亘院長）
３．安芸太田病院（結城　常譜院長）
４．公立世羅中央病院（來嶋　也寸無院長）
５．公立みつぎ総合病院（松本　英男院長）

【週間スケジュール】
実習開始前に配布する「地域医療実習の手引き」を参照。

【実習評価】
１．出席状態および態度、能力などについて実習病院指導医による評価
２．1 週間の振り返りの発表、ディスカッション、レポート作成（大学教員による評価）
３．学生による実習評価（学生⇒実習評価シート）
４．ふるさと枠学生については、卒後の義務勤務を履行するために必要な意思と能力も評価する

【集合場所・時間】
実習先病院ごとに異なるため「地域医療実習の手引き」を参照。

【注意事項】
１．広島大学医学部学生として適切な身だしなみ・服装・言葉使い。
２．時間厳守。
３．白衣、名札、聴診器など持参。
４．宿泊に必要なタオル、洗面道具など持参。
５．その他の注意事項も含めて「地域医療実習の手引き」を事前に確認する事。
６．緊急の連絡はメールで行います。
７．アンプロフェッショナルな行為・態度、レポートの剽窃などの不正行為は厳しく罰せられます。

【連絡先】
外線：082－257-5894、内線：5894、メールアドレス：tiikisis@hiroshima-u.ac.jp